

# 地域包括ケア病棟における 大雄会第一病院 多職種連携の実際

高齢化社会に伴う地域の医療ニーズに応えるため、大雄会第一病院は令和7年2月、「地域包括ケア病棟」を開設しました。地域包括ケア病棟に入院される患者さまは、年齢が比較的高く病状もさまざまです。このため、さまざまな分野の専門職が連携し、サポートする体制がひかれています。今回は、地域包括ケア病棟で多くみられる疾患の1つである「誤嚥性肺炎」をテーマに、多職種連携の実際をリハビリスタッフが発言いたします。

## ■ 誤嚥性肺炎とは、どんな病気？

食物や唾液が気道に入ること（誤嚥）がきっかけで、主に口の中の細菌が肺に入り込んで起こる肺炎です。誤嚥を起こしやすいのは食事中ですが、眠っている間に唾液が肺に垂れ込んで起こることもあります。

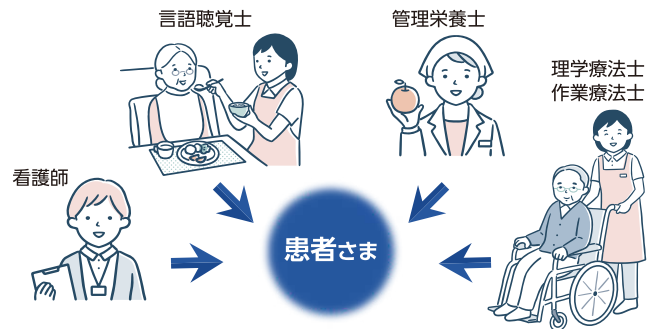


## ■ 多職種連携の実際

地域包括ケア病棟では、入院された患者さまに対し、管理栄養士、看護師、言語聴覚士を中心としたリハビリスタッフが連携して、安全な食事がとれるように「食支援」に取り組んでいます。

管理栄養士は、食物アレルギーの確認や提供した食事内容で食べにくさや味の好みなどが適切かを評価・調整します。病棟看護師は、少量の水を飲みこんでいただき（改訂水飲みテスト）、むせや飲み込みにくさがないかを確認します。その後、飲み込み（嚥下）に問題があった患者さまに対し、言語聴覚士が現状の飲み込みの機能（嚥下機能）を評価し、提供された食事が誤嚥なく安全に食べることができるかを確認し、必要であれば訓練を行います。また、誤嚥性肺炎を防ぐためには、食べる姿勢や食べるための体力も重要であり、身体の専門家である理学療法士・作業療法士のリハビリスタッフが適宜介入しています。

このように患者さまの、より安全な食事の実現のために、多職種で取り組んでいます。



## ■ 皆さんへメッセージ

大雄会第一病院のリハビリスタッフは、患者さまの「人生を支援する」をモットーに、その人らしい人生を送れるよう、一人ひとりにあわせてカスタマイズされたリハビリテーションの提供を目指しています。また、病院スタッフ一同、患者さまが安心して退院し、住み慣れたご自宅で快適な生活を送れるよう、全力でサポートさせていただきます！

地域包括ケア病棟についてのお問い合わせは、地域連携室までご連絡ください。

地域医療連携室：☎0586-26-2366（直通）



私たちが全力でサポートさせていただきます。

